事業名：「復興知」の総合化による食・農・ふくしま未来学の展開

福島大学　連携市町村：南相馬市、川内村、大熊町、飯舘村
現地拠点：　いいたて結い農園　（飯舘村飯樋字笠石140-1）

事業のポイント　浜通りおよび福島県地域においてイノベーションを生み出す高度で加速度的な復興に寄与する人材の育成をめざし、「復興知」事業、「地（知）の拠点整備事業」（文部科学省COC事業）、地域実践特修プログラムを発展させて以下の取り組みを展開する。

【取組1】食・農に関する国内外の復興知を集積・活用した専門教育と研究

【取組2】全学を貫く地域実践特修プログラム「ふくしま未来学」の高度化

人材育成目標　次の4つの力を備え、地域の復興とイノベーションの中核を担う実際的人材を育成することを目標とする。

専門的実践解決力	学際的な理解・解決力	協働・コミュニケーション力	復興への情熱・浜通りへの愛着
特定の学術分野に高い専門性を有し、実際の課題解決を通じて、浜通りの復興に貢献できる能力	他の学問分野の基礎能力にも通じ、複合化した課題に取組める能力	異なる立場の人々と協働し、力を合わせて課題解決を遂行する能力	浜通りの実情に通じるとともに地域への愛着をもち、長期間にわたることが予想される復興に対して、腰を据えてじっくりと取組むという情熱

２０２５年度の活動内容

１．「復興知」成果の社会横断的総合化・実装展開
「復興知」成果に「横ぐし」をさし、複数の専門分野の知見を総合して、土壌改良手法の高効率化とモデル整備や低投入・持続的生産体系のため、エゴマ等へのバイオ肥料を用いた安定・高効率栽培・生産を飯舘村で実証展開する。また、「もうかる農業」のためのシステムを構築・展開する。これらで得られた成果を大学・大学院の教育プログラムの基盤とする。

２．「福島大学『復興知』エクステンション」展開
「復興知」成果に加え小中高校の基礎分野を含めた「出前授業」を充実させ、復興に資する知見・知識を展開し人材育成をはかる。事後の利活用ができるようアーカイブ化も進める。除染水田産米の貯蔵物質蓄積構造を年次間・環境変動や安全・安心を科学的に明示して、栽培制御技術を農業従事者に還元し、地域・児童・生徒等へ教授する。

３．「ふくしま未来学」の高度化
フィールドワーク・サービスラーニング科目「むらの大学」を南相馬市・川内村・大熊町・飯舘村の４拠点で実施する。併せて自主学修プログラム、学類を超えたプロジェクト学修との連携を深めて一層の増強を図る。
また、スタディツアー「みらいバス」や「復興知」のデータベース化と発信、福島型サービス・ラーニングの開発と発信、浜通りの高校との連携を継続する。

「むらの大学」成果物

取り組みによって得られる成果
１．浜通りおよび福島県の復興に寄与する人材育成プログラムの展開と人材の継続輩出
２．復興を支援する研究展開と地域・実践的還元